

2024年3月期 決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス
(スタンダード：9479)

2024年5月13日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2024年3月期業績

2024年3月期 業績ハイライト ①

- デジタル広告の回復基調が持続、4Qに入りターゲットメディアに下げ止まり感が出るなどプラスの側面はあるものの、出版を中心としたメディア事業の大幅な減収が響き、連結売上高は14,466百万円（前期比▲4.6%/▲694百万円）。
- メディア事業の業績悪化は収益性の高い既刊書籍・電子書籍・ターゲット広告の減収、事業構造改革での編集者減及び4Qの新刊刊行の抑制等による新刊書籍の減収、加えて在庫評価額の低下による売上原価、人件費及び事業開発投資の増加により営業利益は▲483百万円（前期比▲870百万円）、経常利益は▲366百万円（前期比▲860百万円）。
- 当期純利益は、人員合理化による事業構造改革費や収益性の低下した事業用資産の減損損失等の特別損失を▲431百万円、繰延税金資産の回収可能性の見直しによる法人税等調整額▲114百万円を計上したことにより、▲1,036百万円（前期比▲1,412百万円）と大幅な減益となった。

2024年3月期 業績ハイライト ②

- 出版・電子出版は、既刊書籍は前期の商品力の弱さが影響し、返品は落ち着きつつあるものの、出荷の減少が継続、電子書籍は全体的に弱含みに推移、新刊書籍は4Qの新刊刊行の抑制等により減収で、売上高7,571百万円（前期比▲6.9%/▲562百万円）。
- ネットメディア・サービスは、ネットワーク広告の回復基調が持続していることに加え、アフィリエイト収入も好調を維持、売上高1,925百万円（前期比+8.1%/+144百万円）と増収幅を拡大。
- ターゲットメディアは、新型コロナを契機とした市場成長が鈍化、下げ止まりつつあるもターゲット広告やイベント収入の減収が響き、売上高1,135百万円（前期比▲11.7%/▲150百万円）。
- プラットフォーム事業は、電子コミックPFが前期第2Qに出版社向けサービスの一部が終了したことで調整局面に入り、減収。主力サービスは、人気タイトルの牽引等で想定を上回る推移を維持しているものの、売上高2,569百万円（前期比▲4.9%/▲131百万円）。

2024年3月期 連結業績

単位：百万円

	23/03期	24/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
売上高	15,161	14,466	▲4.6%	▲694
営業利益	386	▲483	—	▲870
経常利益	494	▲366	—	▲860
当期純利益	375	▲1,036	—	▲1,412

※24/03期（当期）に特別損失（事業構造改革費、減損損失等）▲431百万円を計上。

2024年3月期 特別損失の内訳

■特別損失 合計額 : 431百万円

【内訳】

■事業構造改革費 … 135百万円

- セカンドキャリア支援等の人員合理化施策に伴う費用（退職金等）
- 不採算事業の整理に伴う費用

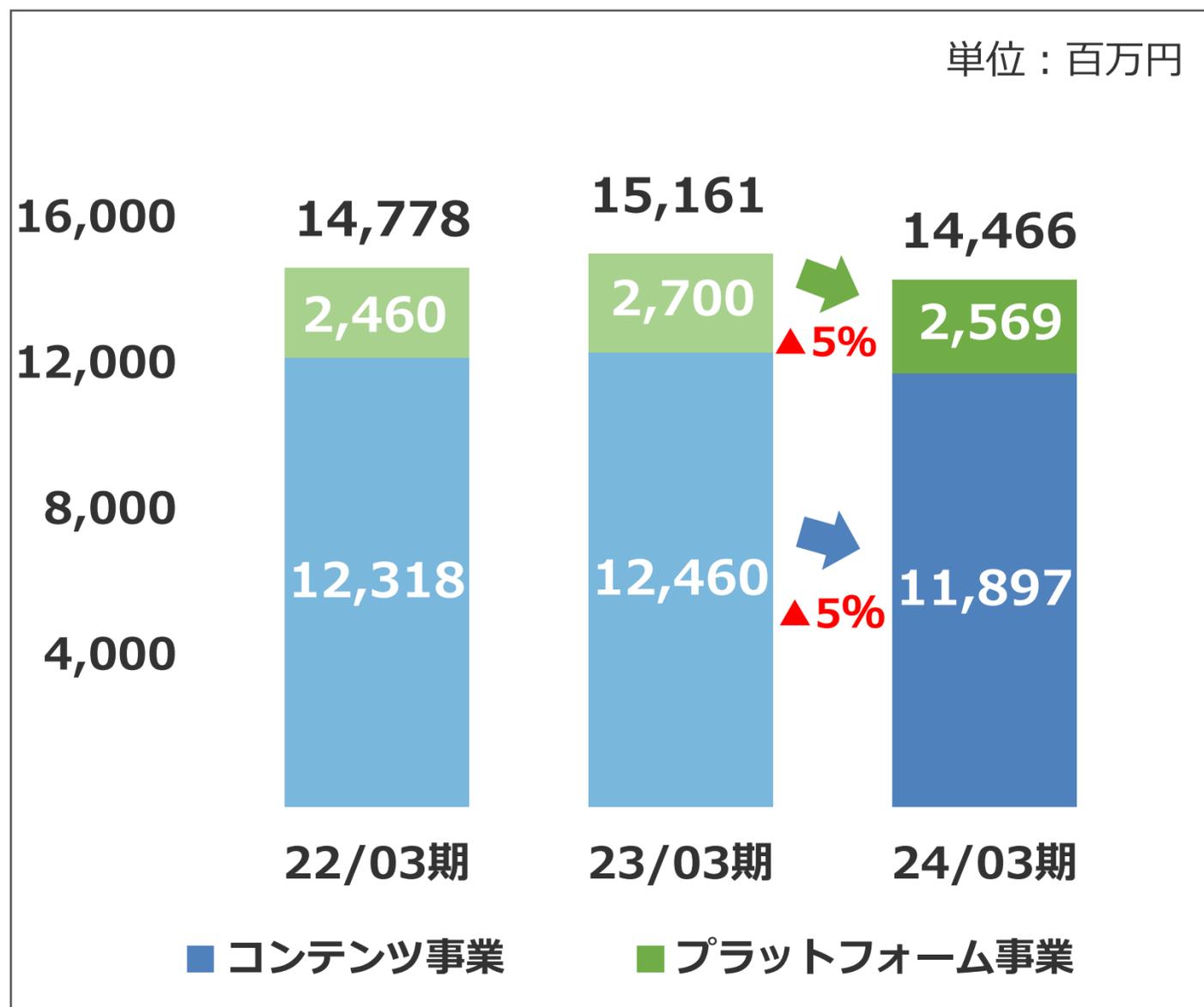
■減損損失 … 288百万円

- 収益性の低下により投資の回収が見込めなくなった固定資産及び子会社PUBFUNにおけるのれんの減損

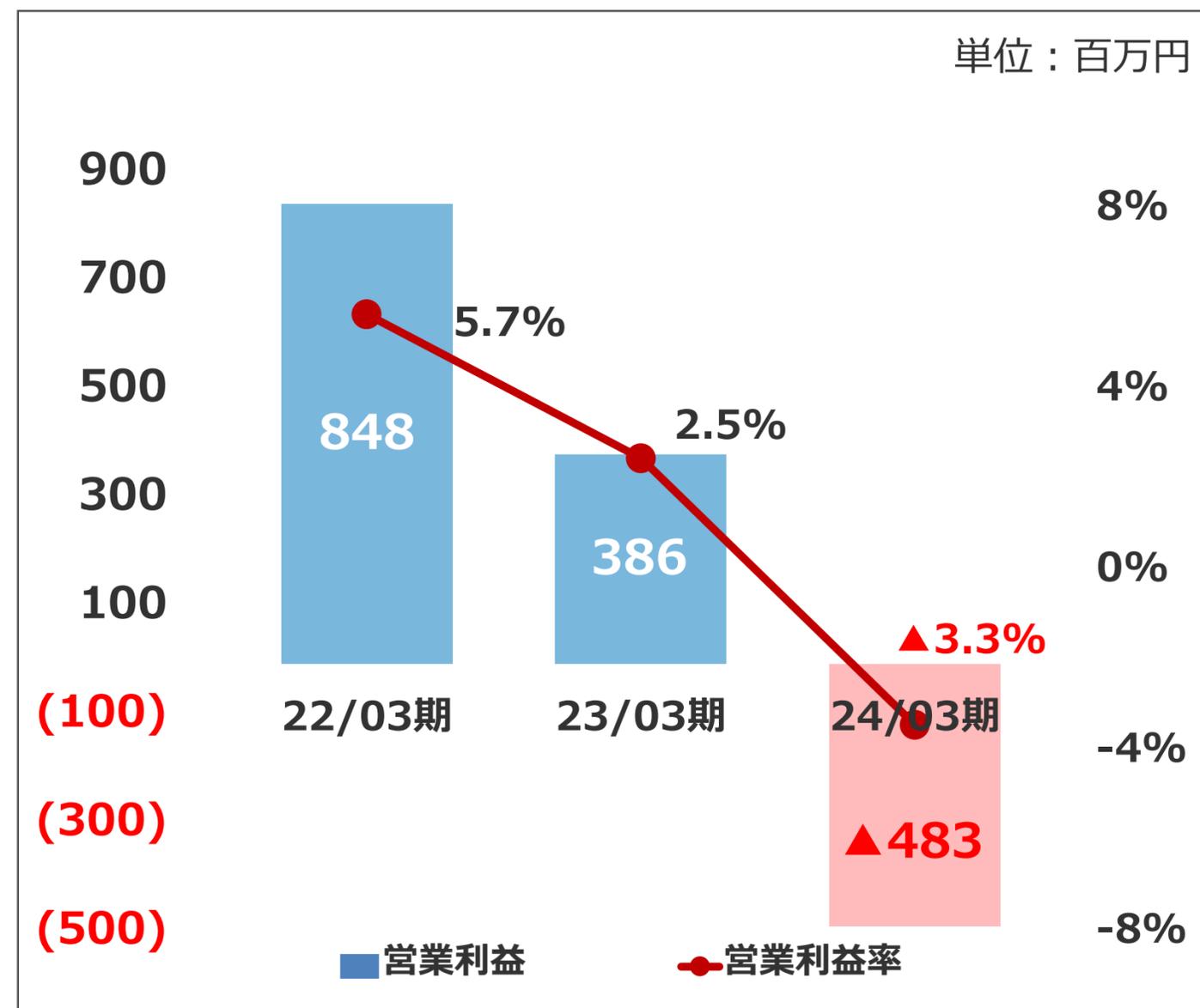
■固定資産除却損 … 7百万円

連結業績推移（3期比較）

■売上高



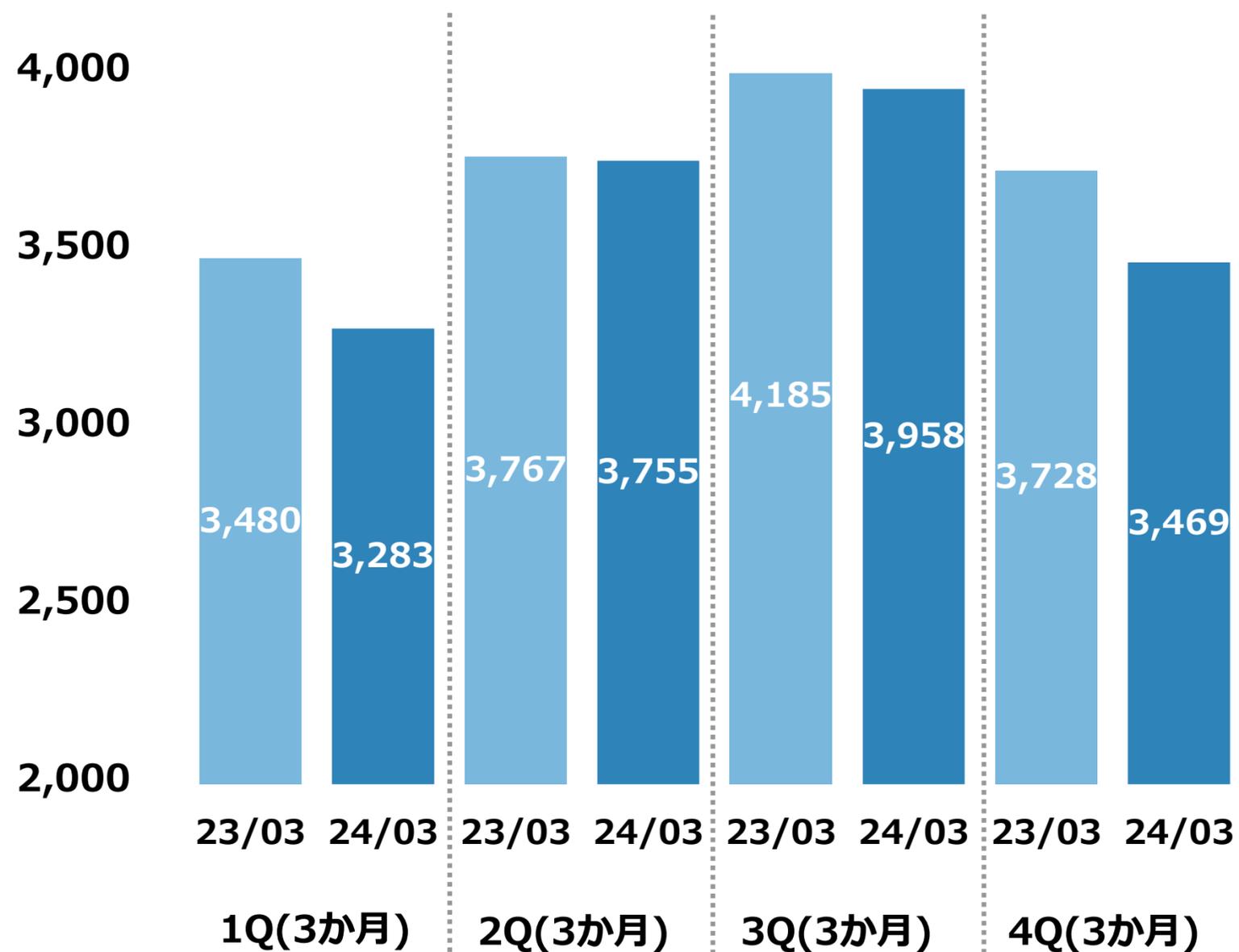
■営業利益・営業利益率



連結業績推移（四半期比較）

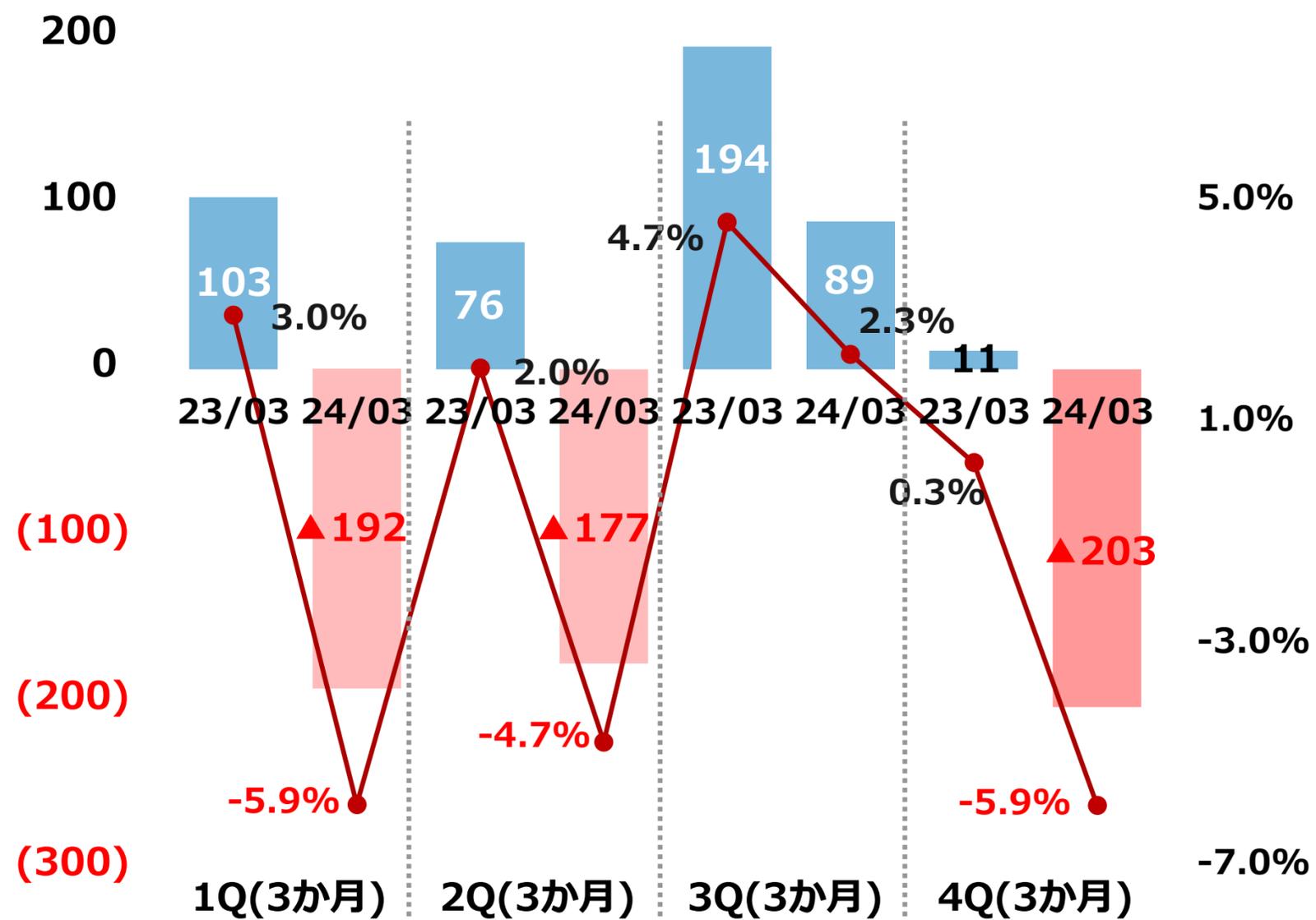
単位：百万円

■ 売上高



■ 営業利益と営業利益率

4Qは、既刊書籍の出荷減に加え、新刊刊行の抑制や在庫評価額の低下等により、営業損失幅が拡大



2024年3月期 営業利益の減少要因

単位：百万円

24/03期営業利益

▲483

投資の増加

▲148

オンデマンドのプラットフォーム事業、
DtoC事業モデルの新規開発等の投資

販管費の増加

▲157

人員増や報酬水準の
引上げによる人件費増

粗利率の減少

メディア事業の収益性の悪化
(粗利率▲2.1P)

▲309

売上の減少

- 新刊書籍・既刊書籍・電子書籍・ムックの減収
- ターゲットメディアの減収
- 電子コミックPFの減収

▲255

23/03期営業利益

386

386

▲483

▲870

事業区分・セグメント別業績概要

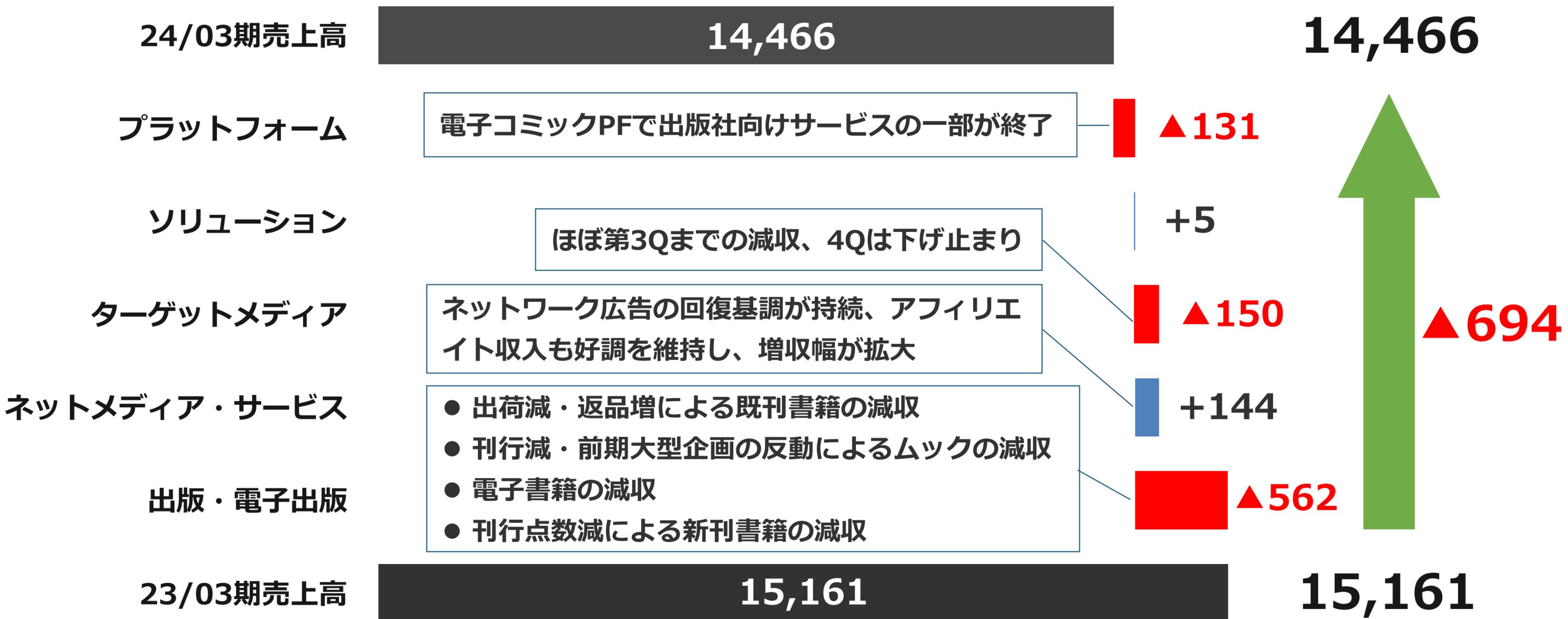
2024年3月期 事業区分別売上高

単位：百万円

事業区分	23/03期	24/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	12,460	11,897	▲4.5%	▲562
出版・電子出版	8,134	7,571	▲6.9%	▲562
ネットメディア・サービス	1,781	1,925	+8.1%	+144
ターゲットメディア	1,285	1,135	▲11.7%	▲150
ソリューション	1,259	1,265	+0.5%	+5
プラットフォーム事業	2,700	2,569	▲4.9%	▲131
合計	15,161	14,466	▲4.6%	▲694

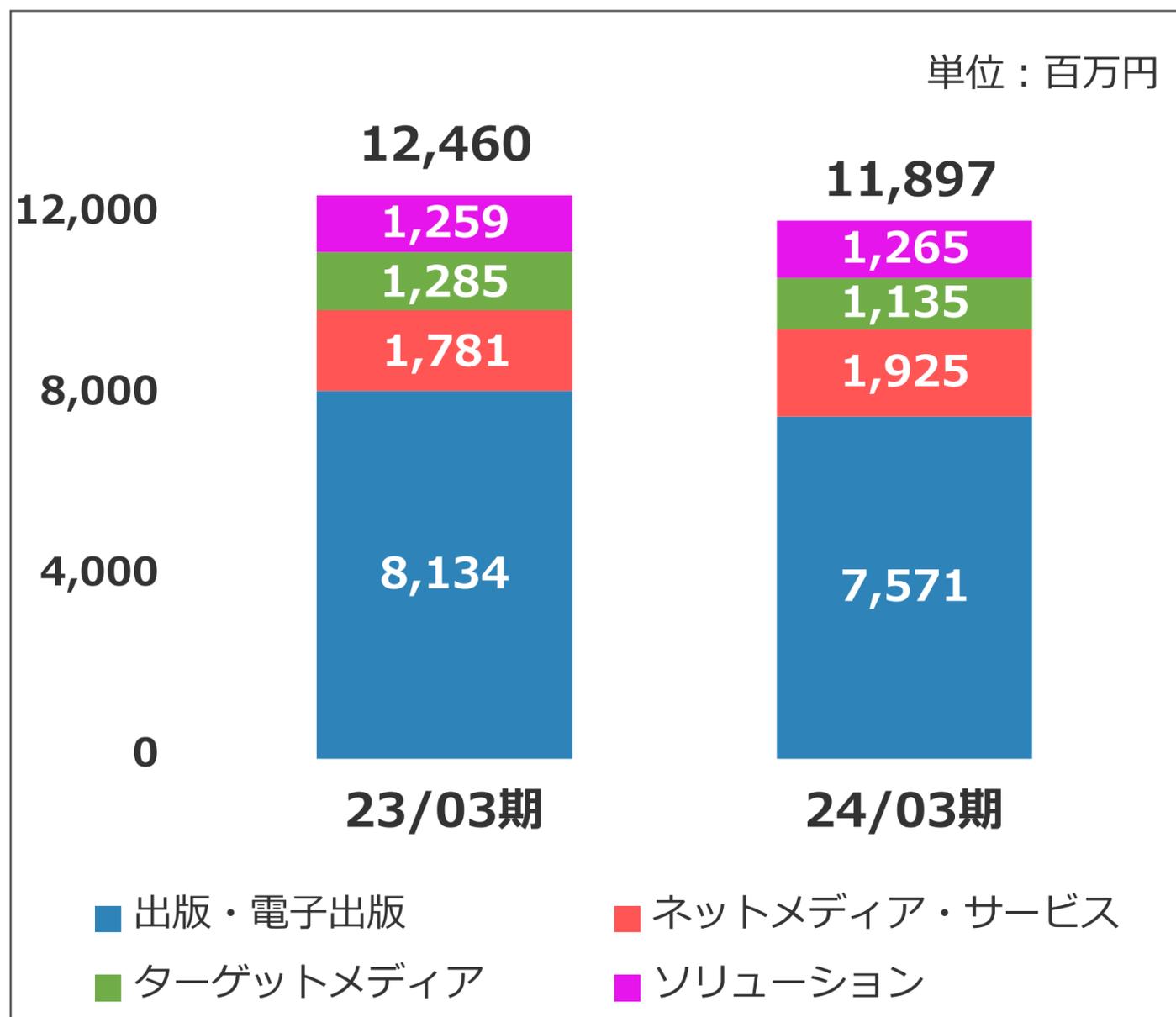
2024年3月期 事業区分別売上高の減少サマリー

単位：百万円



2024年3月期 事業区分別売上高：コンテンツ事業

■コンテンツ事業売上高



コンテンツ事業：▲4.5%（▲562M）の減収

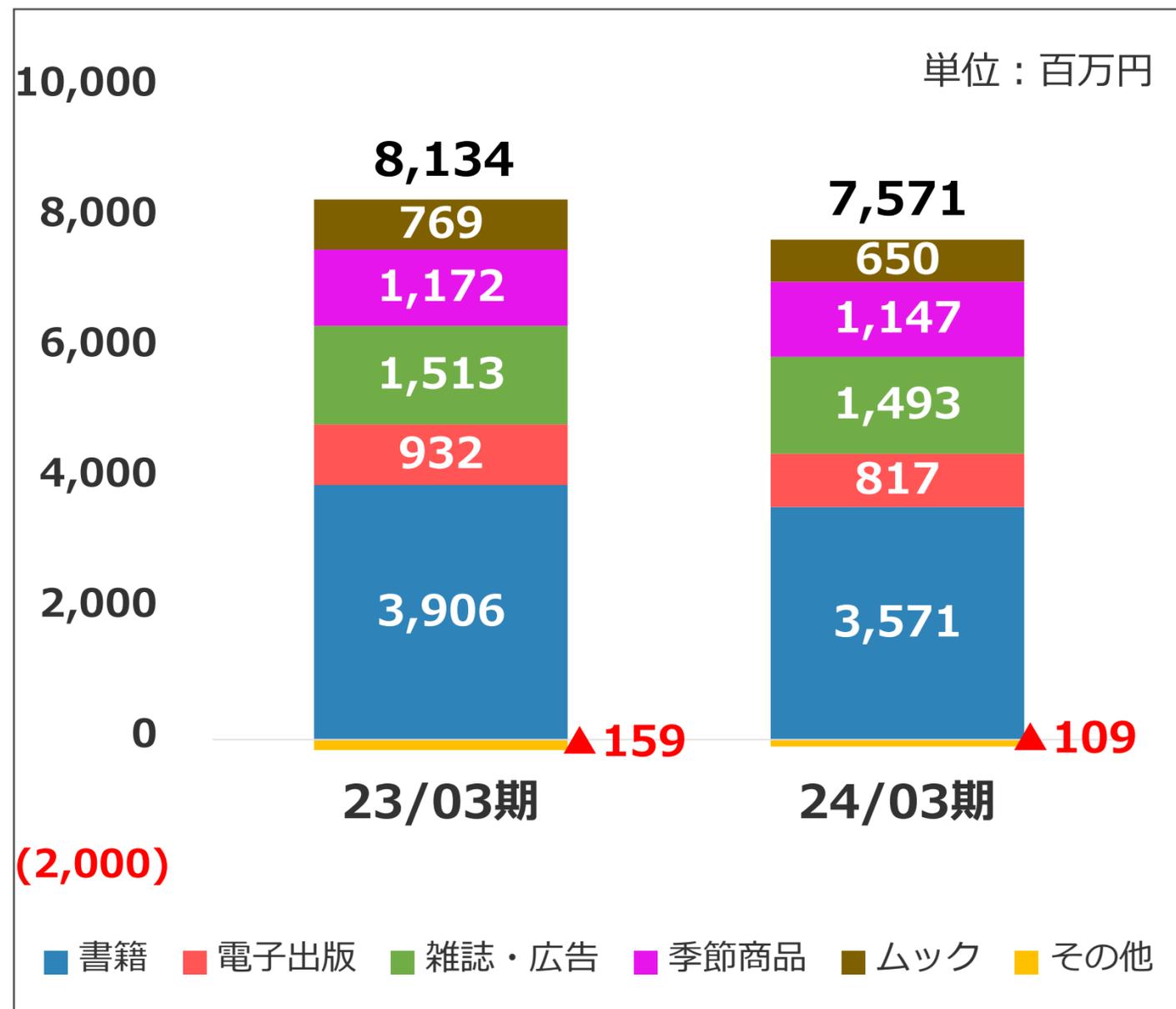
- 出版・電子出版：▲6.9%（▲562M）の減収
新刊書籍は売れ行き良好書は増加しているものの、事業構造改革での編集者減や4Qの新刊刊行の抑制等で減収、既刊書籍は出荷減・返品増で大幅減収、電子書籍は全体的に弱含みな推移。
- ネットメディア：+8.1%（+144M）の増収
Impress Watchシリーズのネットワーク広告の回復基調が持続、アフィリエイト収入の好調も加わり、増収幅拡大。
- ターゲットメディア：▲11.7%（▲150M）の減収
新型コロナを契機とした市場成長が鈍化、下げ止まりつつあるもターゲット広告やイベント収入が減収。

2024年3月期 事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高

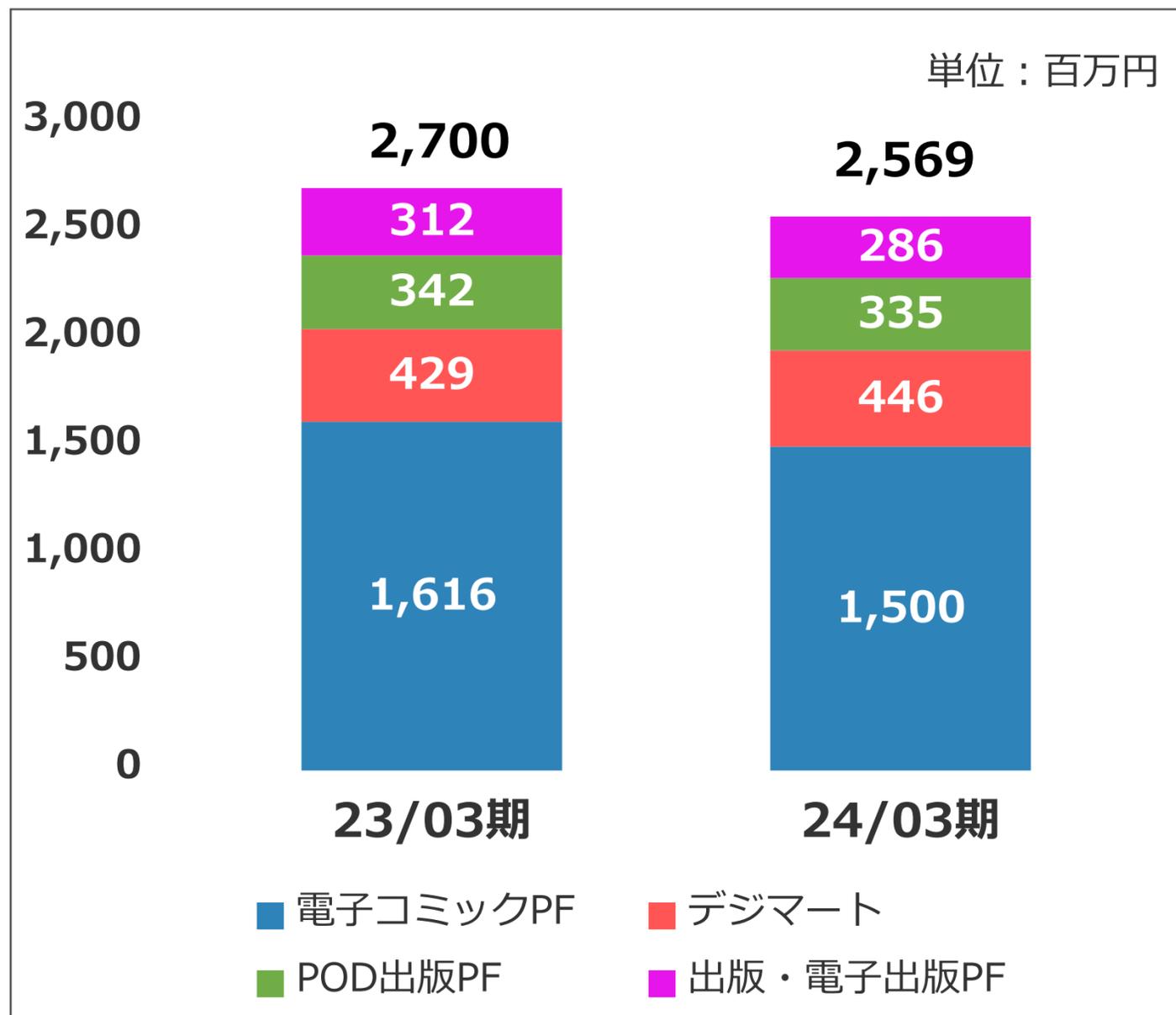
出版・電子出版：▲6.9% (▲562M) の減収

- 書籍：▲8.6% (▲334M) の減収
新刊は、売れ行き良好書は増加しているものの、事業構造改革での編集者減や4Qの新刊刊行の抑制等で刊行点数が前期比▲60点 (4Q▲49点) で減収、既刊は、前期刊行タイトルの商品力の弱さが影響し、出荷減・返品増となり大幅減収。
- 電子出版：▲12.3% (▲114M) の減収
航空・鉄道での展開が拡大、音楽が堅調も全体的に弱含みな推移。
- 雑誌・広告：▲1.3% (▲19M) の減収
音楽と山岳・自然は好調なもの、ITの休刊と航空・鉄道の刊行点数減で減収。
- 季節商品：▲2.2% (▲25M) の減収
カレンダーは点数増、商品価格の引上げにより増収も、年賀状ムックの製造規模縮小により減収。
- ムック：▲15.4% (▲118M) の減収
航空・鉄道で、不採算タイトルの整理により、刊行点数が減少したことに加え、前期の音楽や山岳・自然の大型タイトルの反動により大幅減収。



2024年3月期 事業区分別売上高：プラットフォーム事業

■プラットフォーム事業売上高



プラットフォーム事業：▲4.9%（▲131M）の減収

- 電子コミックPF：▲7.2%（▲115M）の減収
出版社向けサービスの一部が終了したことにより減収。主力サービスは好調に推移、海外案件の受注が拡大。
- デジマート：+3.8%（+16M）の増収
取引高が堅調に推移、楽器店からの決済サービス収入が増加。
- POD出版PF：▲1.8%（▲6M）の減収
法人向けPOD出版サービスにおいて、取引出版社数は増加するも、既存出版社の売上が減少。個人向けPOD出版サービスは、利用者数は堅調に推移するも、ヒットタイトルに恵まれず減収。
- 出版・電子出版PF：▲8.3%（▲25M）の減収
パートナー出版社の取扱減により手数料収入等が減少。

2024年3月期 セグメント別概況

- メディア事業の厳しい動向を受け、全セグメントが減益となる厳しい結果となった。
- 最も減益幅の大きいITは、デジタル広告が復調し増収も、出荷減・返品増により既刊書籍が減収、ターゲット広告・イベント収入が減収と、収益性の高い事業の減収幅が大きかったことに加え、人件費等の販売管理費の増加により、大幅な減益となった。
- 出版事業を収益基盤とする山岳・自然、デザイン、音楽、航空・鉄道はセグメント利益が赤字かつ赤字幅が広がる結果となった。山岳・自然は季節商品、雑誌、新刊書籍が増収も収益性の高い既刊書籍や電子書籍の減収により減益、デザインは事業構造改革による新刊書籍の減収や収益性の高い既刊書籍と電子書籍の減収で減益、音楽は増収も販売管理費の増加で減益となった。また、事業構造改革フェーズにある航空・鉄道についても、不採算な雑誌・ムックの刊行タイトルを整理したことによる減収に加え、販売管理費の増加で減益となった。
- モバイルサービスは、出版社向けサービスの一部が終了する調整局面で減収減益も、主力サービスは好調な推移を維持、海外案件の受託拡大もあり、想定を上回る推移となった。
- その他は、プラットフォーム事業等の新規開発に伴う投資で減益となった。

2024年3月期 セグメント別売上高・セグメント利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	6,203	▲2.5%	474	▲428
音楽	1,921	+4.2%	▲115	▲5
デザイン	747	▲26.2%	▲146	▲71
山岳・自然	1,643	▲2.5%	▲141	▲108
航空・鉄道	1,375	▲2.0%	▲186	▲97
モバイルサービス	1,660	▲8.8%	344	▲42
その他	1,651	+4.7%	▲133	▲127
全社 + 消去	▲737	—	▲579	+11
合計	14,466	▲4.6%	▲483	▲870

キャッシュ・フローの状況

2024年3月期 キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	23/03期	24/03期	
	実績	実績	前期比
営業キャッシュ・フロー	▲58	▲513	▲454
投資キャッシュ・フロー	▲70	▲265	▲195
財務キャッシュ・フロー	▲204	▲290	▲86
現金同等物の増減額	▲333	▲1,069	▲735
現金同等物の期首残高	6,316	5,983	▲333
現金同等物の期末残高	5,983	4,914	▲1,069

キャッシュ・フローの状況

- 営業キャッシュ・フローは損失計上や運転資本の増加などにより▲513百万円となったが、期末日（3月31日）が休日だったことにより売掛金回収約7.5億円程度が25/03期に繰り越されており、実質的には営業キャッシュ・フローは2億円強のプラス。
- 営業キャッシュフローが実質プラスとなった要因は、税引前当期純損失▲797百万円を計上したものの、実質的に運転資本が減少（キャッシュの増加）したことに加え、資金の支出を伴わない減損損失288百万円の計上や法人税等の還付511百万円など。
- 投資キャッシュ・フローは、オンデマンドのプラットフォーム事業、DtoC事業のシステム開発投資や有価証券の取得により▲265百万円。
- 財務キャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当支払いにより▲290百万円。
- 現金同等物の残高は、期首から▲1,069百万円減少し4,914百万円となったが、売掛金の回収ズレ（約7.5億円）を考慮すると、実質は5,650百万円程度の水準で、330百万円程度の減少。

2025年3月期業績及び配当予想

2025年3月期の基本方針

中長期の達成目標である「企業価値向上」に向けて、収益及び事業のポートフォリオを抜本的に見直し、既存事業の構造改革と中長期の成長基盤の開発を促進する

① 出版・電子出版事業の収益力の回復

- 不採算事業の整理、グループ内の組織再編の実施
- 出版事業の競争力の回復

② 事業ポートフォリオの構造転換の促進

- ネットメディア、DtoC事業モデル開発、新規ソリューション・PF事業開発等の新規事業領域・事業モデルの開発
- 新規事業開発はDtoC事業モデルの開発を中心に投資を継続、前期並みの1.7億規模の投資を計画

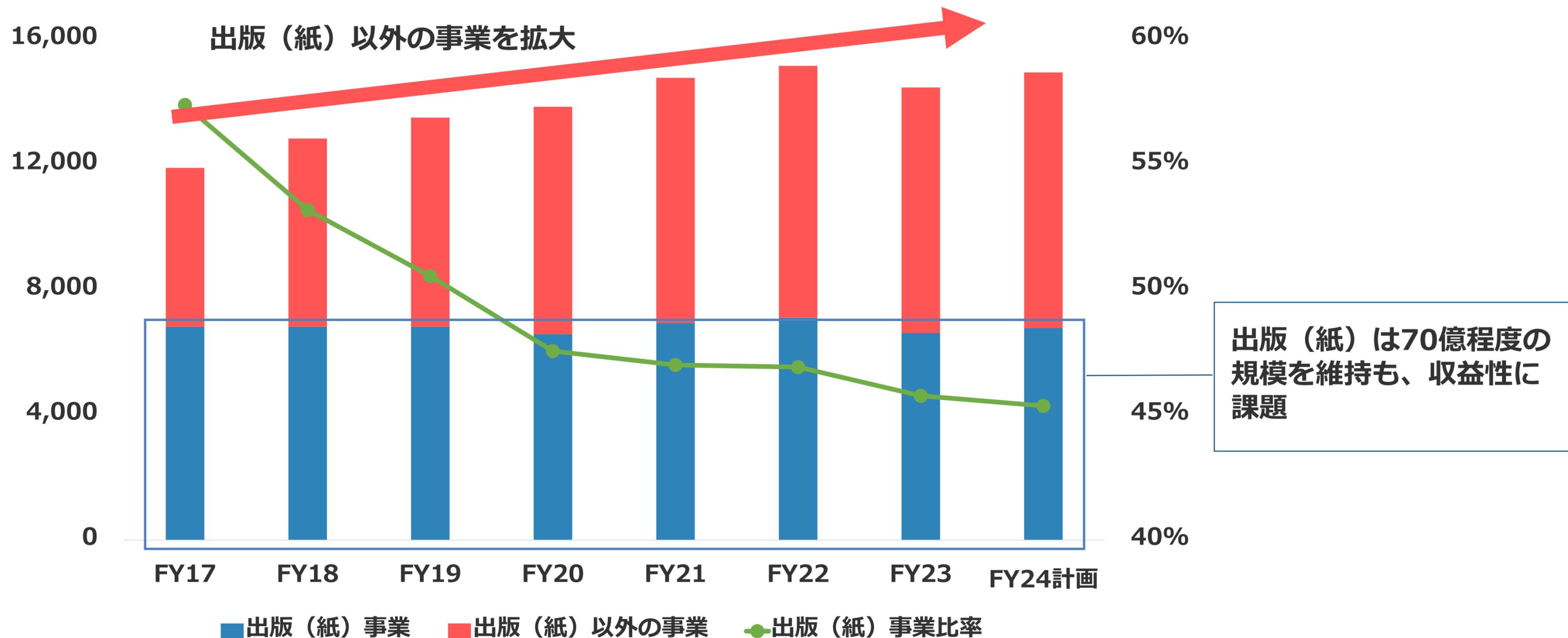
③ 外部との協業（事業及び業務提携）による事業規模の拡大・事業開発力の強化

- 出版事業における競争力・事業強度の強化、メディアミックス展開の促進
- ネットメディア、ターゲットメディア、プラットフォーム事業領域等を対象とした協業関係の構築

事業ポートフォリオの構造転換の方向性

単位：百万円

※出版（紙）事業の収益性を回復させながら、一層の構造転換を推進



2025年3月期 連結業績予想

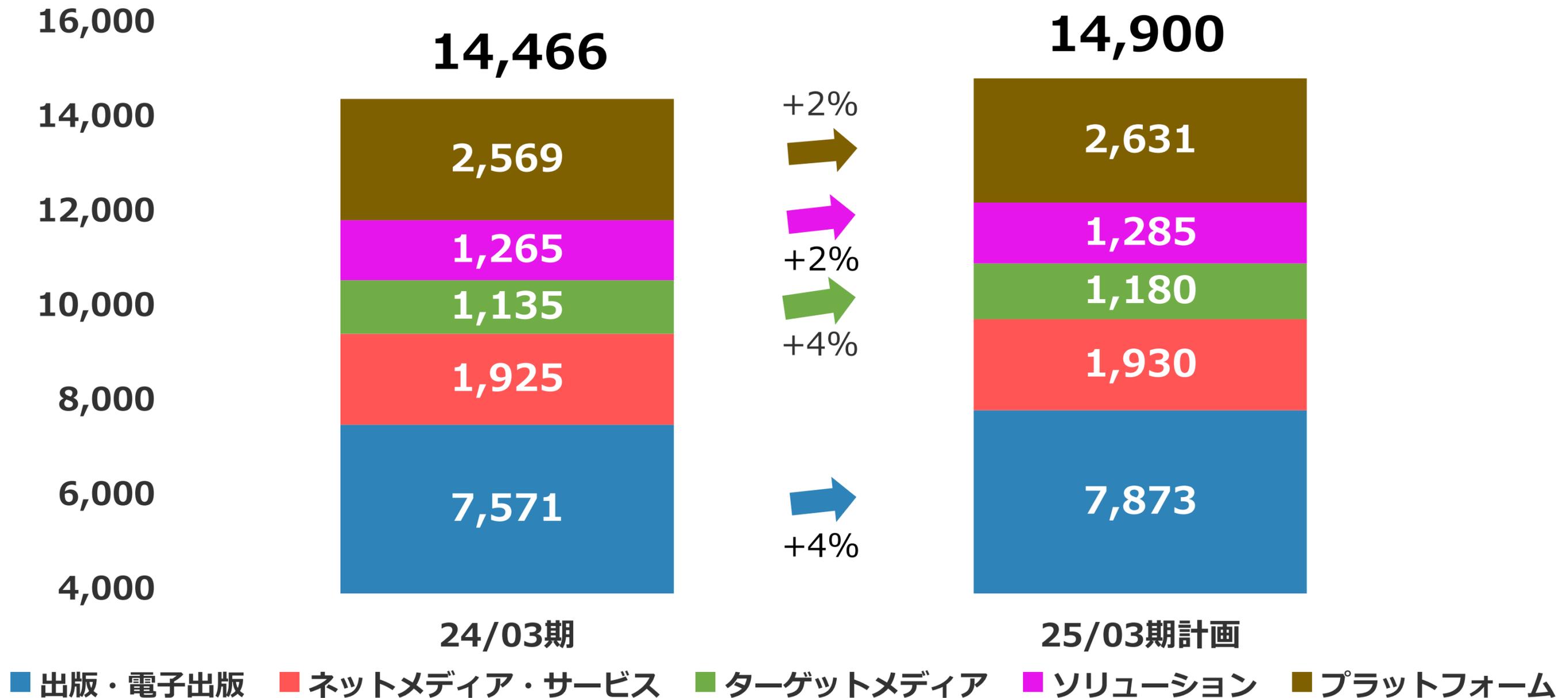
単位：百万円

	24/03期	25/03期		
	実績	予想	前期比	
売上高	14,466	14,900	+3.3%	+433
営業利益	▲483	250	-	+733
経常利益	▲366	350	-	+716
当期純利益	▲1,036	200	-	+1,236
営業利益率	▲3.3%	1.7%		+5.0%
出版（紙）売上高	6,621	6,781		+160
※同構成比	45.8%	45.5%		▲0.3%

2025年3月期 事業区分別の売上見通し

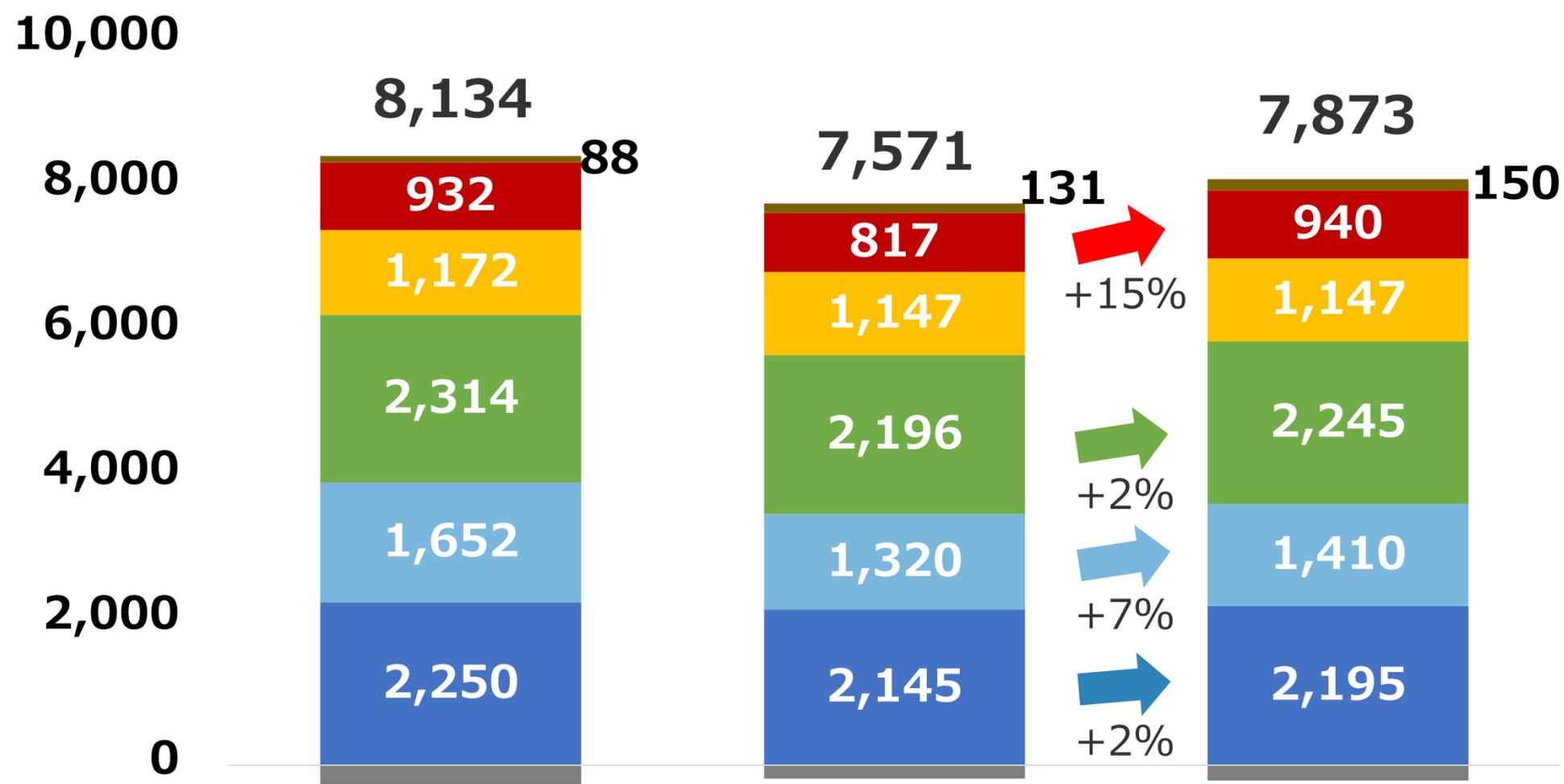
単位：百万円

※出版・電子出版の約3億の増収を中心に、約4.3億円（+3%）の増収計画



2025年3月期 出版・電子出版の売上見通し

単位：百万円



出版・電子出版：+4%（約3億）の増収

- 新刊書籍：+2%（50M）の増収
不採算シリーズの撤退等の影響で、刊行数は約30点減も高価格商品へのシフトと企画精度の向上で増収。
- 既刊書籍：+7%（90M）の増収
23/03期の新刊の売行きが悪化したことにより、24/03上半期を中心に増加した約90Mの返品増の改善と、前期に売行きが回復した新刊書籍の出荷増等で増収。
- 雑誌・ムック・広告：+2%（49M）の増収
原価上昇等を考慮した定価の引上げ等による増収。
- 電子出版：+15%（123M）の増収
投資フェーズにあるオリジナルのマンガコンテンツ及び拡大基調にある航空・鉄道セグメントの販売増等で増収。

-2,000

- 新刊書籍
- 季節商品
- 返金負債
- 既刊書籍
- 電子出版
- 雑誌・ムック・広告
- その他



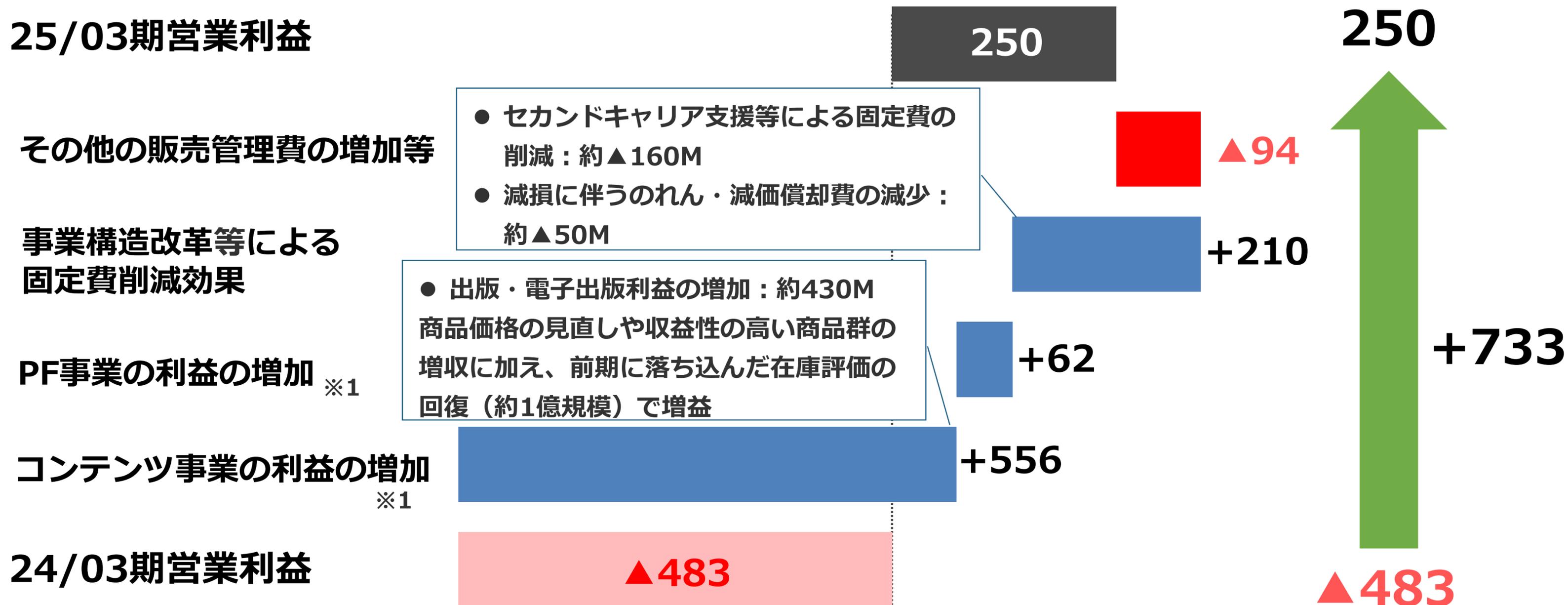
※売上は、返金負債を集約した管理会計上の数値になります。

2025年3月期 営業利益の増加要因

単位：百万円

※出版事業を中心に収益回復と事業構造改革等による固定費等の削減で黒字転換を実現

25/03期営業利益



※1：事業利益は、直接原価ベースの管理会計上の売上総利益

2025年3月期の営業利益改善ポイント

- 2025年3月期の営業利益改善（+733百万円）ポイントは以下の通り。
- 24/03期に実施した事業構造改革及び収益性が低下した事業用資産の減損などにより、25/03期の固定費が▲210百万円削減され、同額が営業利益の改善（+210百万円）に寄与する。
- コンテンツ事業の利益改善は+556百万円で、主な要因は以下の通り。
 - 既刊書籍等の出荷減少・返品増加に伴い100百万円規模で低下した出版事業の在庫評価額は、25/03期には下げ止まる見込みで、出版・電子出版事業の利益改善（+100百万円）に寄与する。
 - その他、出版・電子出版事業の利益改善は+330百万円。 ※内訳は次ページ参照
 - 増収傾向を維持しているネットメディア・サービス、下げ止まり感があるターゲットメディアで、利益増加は+60百万円。
- プラットフォーム事業は好調が継続する見通しで、利益増加は+62百万円。

出版・電子出版事業の利益改善ポイント

- 出版・電子出版の利益改善（+330百万円）の主な要因は以下の通り。
- 雑誌事業 +110百万円：不採算タイトルの刊行減▲12点により原価削減、価格改定により売上維持で大幅増益を見込む。
- 既刊書籍 +70百万円：24/03上半期を中心に増加した90Mの返品増の改善、24/03に刊行した書籍に売行き回復傾向が見られ出荷増等で増収を見込む。
- 新刊書籍 +60百万円：不採算シリーズの撤退等で刊行数▲27点により原価削減、高価格商品へのシフトと企画精度の向上で収益性を改善を見込む（利益率を2ポイント改善）。
- 電子出版 +80百万円：投資フェーズにあるオリジナルのマンガコンテンツ及び拡大基調にある航空・鉄道セグメントの販売増等で増収を見込む。

2025年3月期 配当予想について

※キャッシュ・ポジション等を考慮し、24/03期の配当水準を維持

	24/03期	25/03期
	実績	予想
配当総額	135百万円	135百万円
一株当たり配当金	4.0円	4.0円
配当性向	—	67.7%

※24/03期の配当性向は親会社株主に帰属する当期純利益がマイナス（純損失）のため非表示。

(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」





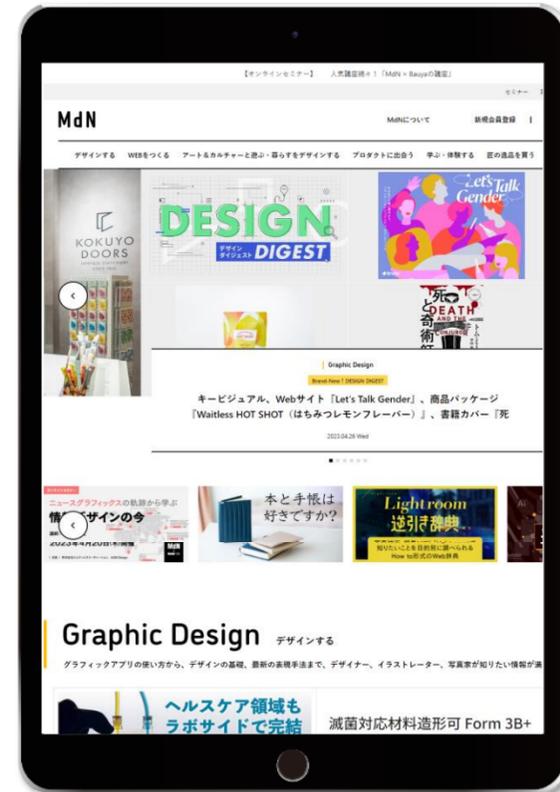
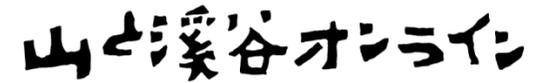
専門書籍・雑誌



電子書籍



年賀状ムック
カレンダー



デジタル総合
ニュース

登山

デザイン

音楽



サービスと周辺サービスの3つで構成される。ローバー型、ポート型、潜水艦型の完成品機体の国内での販売金額、ドローンを活用した業務の提供企業の売上額。ただし、ソリューションの一部のみの売上を推計。企業や公共団体が自社保有のドローンを活用する推計。周辺サービス市場は、バッテリー等の消耗品の販売額、定期メンテナンス額。

出所：インプレス総合研究所作成



ビジネスメディア

調査報告書

イベント・セミナー

コンテンツ事業 [ソリューション事業]

できる シリーズ7,500万部 突破* 売上 No.1 日本で一番売れているパソコン解説書

Amazon Pay

あなたの「わからない」をおまかせください！
きちんと身に付き、
使い方広がる入門書。

Amazonギフトカード/あと払い CVR向上
新規顧客獲得 サブスク対応 不正取引対策

もはや常識の決済サービス。
導入メリットを徹底解説!

インプレス 特別版



2024 春 旅行雑誌

福井満喫の旅

旅をもっと楽しもう

案内所

福井市 まちなか案内所

3.16 ふくいMaas リニューアル!

福井市観光協会

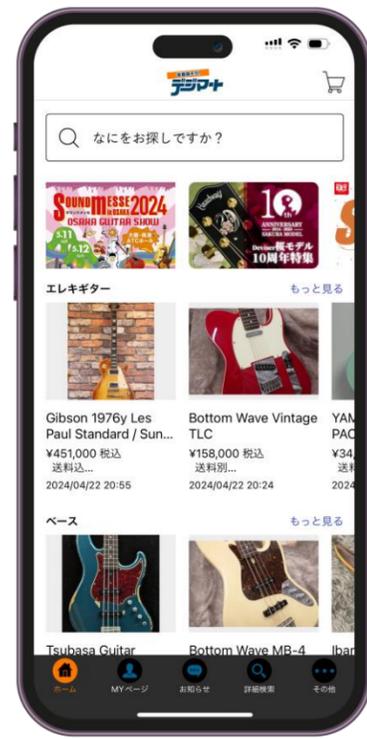
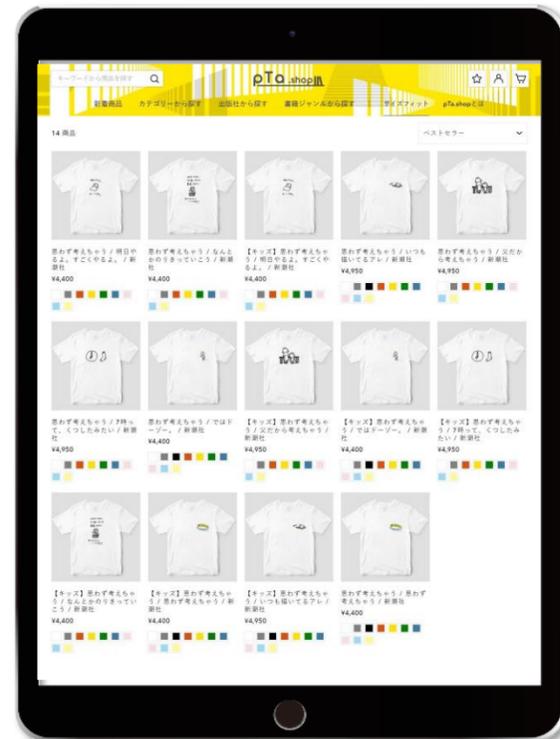
公財) 福井市観光協会

企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト等の制作受託

プラットフォーム事業

pTa.shop

楽器探そう!
デジポト



PUBFUN



EC
プラットフォーム

電子コミック
プラットフォーム

POD出版
プラットフォーム